

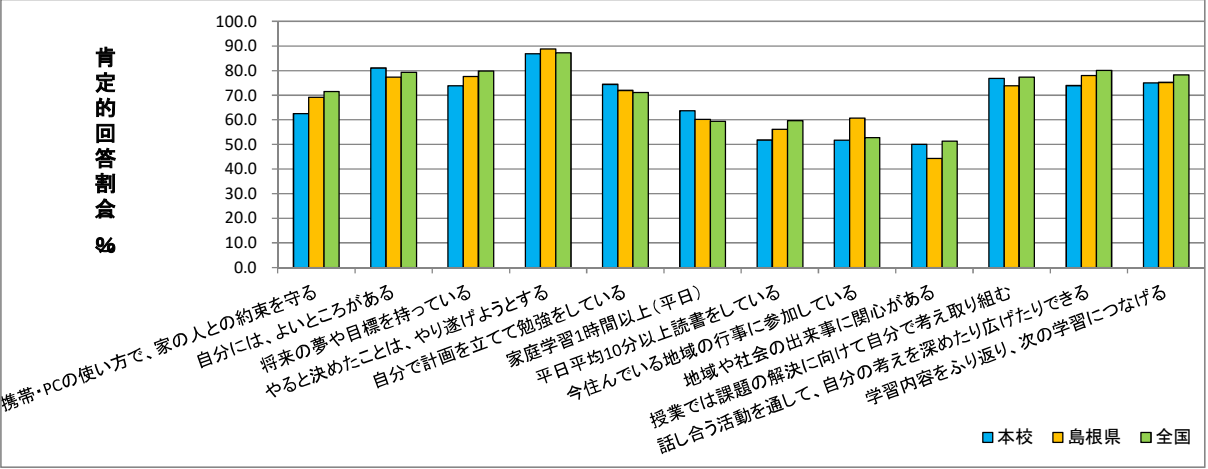
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○言葉の特徴や使い方に関する事項、書くことが全国平均より5ポイント以上高い。 ○文章表現の良い所を見つけて記述できた。 ●文章を読み取り、物語の全体像を具体的に想像すること、文章表現の効果を考える力には課題がある。	・物語の情景描写について、主人公の思いや行動とのつながりを考えることで、情景描写の効果について理解を深める指導をする。
算数	○数と計算、変化の関係が全国平均より4ポイント高い。 ○百分率で表された割合と基準量から比較量を求めることができた。 ●目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取る力に課題がある。 ●正三角形の意味や性質を基に正三角形の構成の仕方について構成の仕方について考察することに課題がある。	・問題文の中で「分ったこと」「問われていること」を自分で整理し、図や表にまとめて考えるようにする。 ・図形の意味や性質を理解するうえで、具体物・半具体物を取り入れながら指導する。
理科	○おおむねどの領域も全国平均と同じくらいの正答率である。 ○記述式の問題に対して、根気強く解答しようとする児童が多く、正答率も全国平均に比べ、6ポイント高い。 ●短答式の正答率が全国平均に比べ低く、題意のとらえが甘い。 ●学習問題に対するまとめの検討や自分の考えをもって表現することに課題がある。	・問題解決学習のサイクルを意識しながら学習を進めるとともに、問題に対しての考察する場において、言葉や文章で表現すること、友達に説明する機会を増やす。 ・単元の終末で、学んだ知識を使って考える活用場面を設定し、学びをアウトプットしたり、転用したりする経験を増やす。

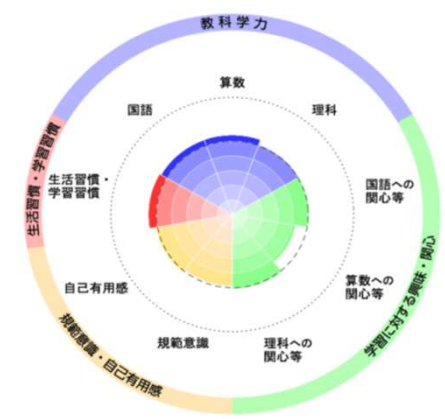
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○生活習慣はよい。規則正しい生活をしていることができる子が多い。 ○困ったときに相談できる人(先生)がいる子が多い。 ●新聞を読んだり、本に親しんだりする子が少ない。 ●算数に苦手意識のある子が多い。 ●ICT活用に課題がある。	・新聞を学習の中に取り入れれたり、社会の課題を教員が広めたりすることで、新聞を読む良さに気付かせる。 ・読書の時間の確保をする。 ・算数では、ペアやグループで教え合いながら問題解決していけるように工夫する。 ・学習の中でICTを多く取り入れていく。教員の研修をする。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・研究に関わる取組として、子どもが語りたくなる授業づくりを目指していく。導入や活動の工夫をする。また、単元に身に付けさせたい資質・能力をイメージした単元構想と手立ての工夫をする。さらに、対話に必要な表現力を高める手立ての工夫をする。  
・一人一台のタブレット端末を活用して、授業に取り入れるようにする。

【受検者数】

168 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。